



山崎小 PTA の活動とご案内

2025年1月
野田市立山崎小学校 PTA 本部作成

PTA の役割と目的



そもそも PTA とは

PTA (Parent-Teacher Association) は、親と教師が協力して子どもの健全な成長や教育環境の向上を目指す団体です。その歴史は20世紀初頭のアメリカで、子どもの福祉向上を目的に始まりました。

日本では、戦後の民主化政策を進める GHQ (連合国軍総司令部) の指導により、1947年に「家庭・学校・地域が協力する教育組織」として PTA が設立されました。当時の教育改革では、戦前の教育制度から脱却し、親と教師が対等に協力する新しい教育観が重視されました。これにより、日本の PTA は子どもの学びと生活環境を支える重要な役割を担うこととなります。

PTA の活動は、教育環境の改善、安全対策、地域社会との連携、保護者間の交流など多岐にわたります。



山崎小 PTA の理念 『令和の PTA』

戦後、GHQ の指導によって組織された PTA は、昭和の時代背景を前提とした考え方が色濃く残っています。しかし、現代では共働き世帯が増え、活動そのものがやりにくくなってきたり、負担になってきたりしています。

子どもの健全な成長や教育環境の向上を目指すという基本理念はそのままに、組織や活動の形態を現代にあったものに変えていく必要があります。

山崎小 PTA は『**できる人が、できるときに、できることを**』進めていき、**令和の PTA** を目指します。

山崎小 PTA の活動ビジョン

何よりも子どもの安全に寄与できる活動をすること

子どもたちの安全が脅かされるようなことは、私たち保護者ができるだけ排除してあげたいと考えています。例えば、山崎小 PTA には安全指導部があり、部員の方たちが主導して登校時間帯の旗振りと安全パトロールを実施しています。

運動会の際の校内外見回りや、学校で開催するイベントの入場者確認なども行っています。



山崎小 PTA の活動ビジョン

子どもたちが「体験」「体感」できる活動をする

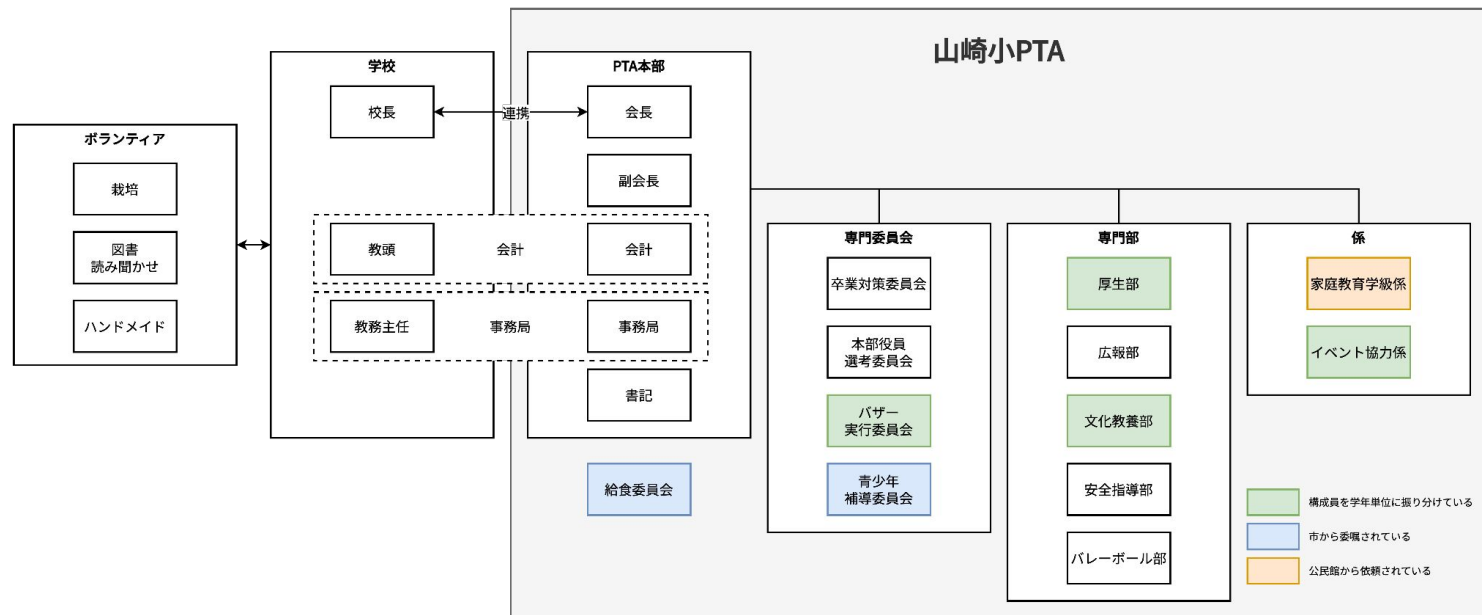
学校では、先生方が日々試行錯誤しながら、子どもたちにより良い教育を提供してくださっています。PTA が、子どもの心や身体を育むような活動ができると素敵です。

子どもたちが1年生～6年生の間に体験・体感することは、彼らの今後の人生に大きく影響を与えるものです。友達と協力して何かを成し遂げる体験ができるようなイベント、心を揺さぶるような体感ができるイベント。そんな企画をしていきたいです。



山崎小 PTA のいま

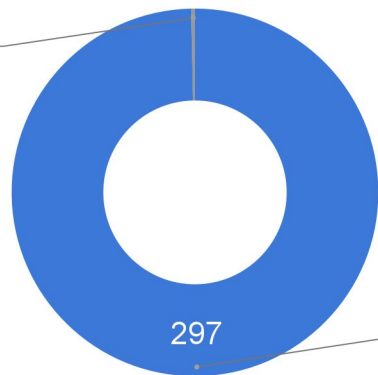
組織図 (令和6年4月時点)



加入状況 (令和6年11月時点)

PTA 加入家庭数

未加入
0.3%



加入
99.7%

令和6年度まで、山崎小 PTA は入学と同時に PTA に加入していただく仕組みとなっていました。令和6年度にこの制度を見直し、令和7年度より新1年生として入学するご家庭には「入会申込書および個人情報取扱い同意書」を提出していただくこととなりました。

退会届もご用意しています。いずれの書類もホームページよりいつでも取得いただけます。



山崎小 PTA 内の主な活動 (令和6年度実績より)

- **バレーボール部**
 - 練習 (通年・毎週)
 - 練習試合 (近隣のチームと対戦)
 - 市P連バレーボール大会出場
- **広報部**
 - 行事の撮影
 - 広報誌作成・発行
- **安全指導部**
 - 登校時間の旗振り活動
 - 安全パトロール活動
- **運動会のサポート**
 - 敷地内外の見回り
 - 運動会後の片付け
- **山小フェス・バザー**
 - 教員による出し物
 - ボランティアによる出し物
 - 外部団体の企画
 - 学用品販売
 - キッチンカーによる飲食物販売
- **もちつき体験**
 - 全児童がもちつきを体験
 - もちを配布 (配布分は既製品を用意)

バレーボール大会

野田市小中学校 PTA 連絡協議会が主催するバレーボール大会の様子です。

部員募集についてはバレーボール部の募集案内をご覧ください。



登校時間の旗振り・安全パトロール

山崎小学校に通うご家庭全世帯で旗振り、パトロール活動をしています。

これまでは旗振りの班ごとに回覧板と旗を次の家庭にまわすことをしていましたが、令和7年度より、各家庭に旗を配布し、ホームページやコミュニケーションツールを使用した情報発信に切り替えるなど、省力化を進めています。

※PTA 会員家庭には横断旗を無償提供



山小フェス・バザー

従来はバザーが中心だったイベントを「フェスティバル」にかえ、子どもたちが企画したり、PTAや教職員、地域の団体の方たちが出し物を提供したりして、みんなで楽しんでいます。





PTA 会費

年会費

3,000 円 / 家庭

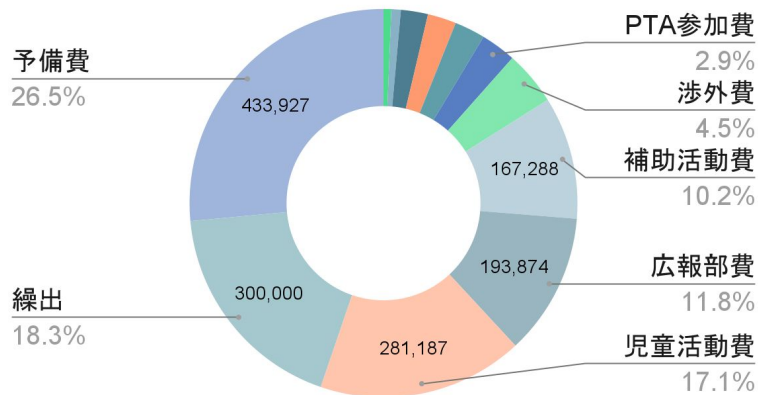
(兄弟姉妹の人数ではなく家庭単位)

支出例

- 広報誌発行
- 児童活動
 - 部活補助、学習補助など
- 事務用品・備品購入
- 市P連負担金
- PTA 保険
- バレーボール大会参加費

支出内訳

令和5年度 会計決算報告より



PTA による支出は左のグラフに示しているような内訳になっています。

コロナ禍には活動が縮小されたため、数年にわたって多くの繰り越しがありました。令和6年度はデジタル化の改革や交通安全にかかる費用が例年とは異なっています。令和7年度以降も引き続き有益な使途を目指し、透明性を高めていきます。

Q & A



Q: 必ず PTA に入会しなければなりませんか？

いいえ。

PTA への入会は強制ではありません。趣旨にご賛同いただき、個人情報の取り扱いに同意いただける場合に入会いただけます。

「入会申込書および個人情報取扱い同意書」は入学時に配布する資料に同梱しています。また、ホームページからダウンロードし、印刷の上で提出することもできます。



Q: PTA に入会したら、活動に参加しなければなりませんか？

いいえ。

必ずしも活動に参加しなければならないものではありません。また、以前のような「一人一役」という考え方もなくしており、「できる人が、できるときに、できることを」という考えのもと、負担を少なく、そして自発的に活動参加できるような仕組みを作っていきます。

例えば、運動会の後の片付けはテントや椅子の片付けなどたくさんの力が必要です。去年は気付いた方々が続々と手伝ってくださりスムーズに終わることができました。

このようなみなさんの気づきも PTA 活動のひとつです。



Q: PTA に入会しない場合に不利益となることがありますか？

いいえ。

PTA に入会しないことを理由としてお子さんが不利益を被ることはありません。PTA という団体による活動は、対象となる学校の全児童に対して行われます。「誰が会員家庭の子どもで、誰が非会員家庭の子どもか」という区別はしません。

一方で、活動に協力いただいたり、会員であったりすることに対して特典・メリットとなることは実施していこうと考えています。例えば、広報誌掲載用に撮影した写真のうち、紙面上掲載ができない写真については会員向けに公開することを検討しています。



Q: 専門部や専門委員、係とはなんですか？

PTA という団体が、年間を通して継続的に活動したり、大きなイベントの企画や運営をしたりすることを前提につくられている組織上のまとまりのことです。

児童数や家庭数が多かった時代は、PTA 活動も多岐にわたっていました。その中で専門部や専門委員が組織され、あらゆる活動を進めていました。令和7年度以降は専門部や専門委員、係を整理し、縮小していきます。



Q: PTA での個人情報取り扱いはどうなっていますか？

ホームページでは次の文書を公開しています。

- [山崎小学校 PTA 個人情報取扱規則](#)
- [山崎小学校 PTA 個人情報保護方針](#)

また、一部の PTA 業務は学校との連携が必要です。そのため、山崎小学校 PTA と山崎小学校の間で[業務委任契約](#)を締結し、PTA 業務の一部を学校に委託しています。



Q: 入会や退会の手続きを教えてください

山崎小 PTA ホームページに入会と退会の用紙を公開しています。

- [山崎小学校PTA 入会申込書および個人情報取り扱い同意書](#)
- [山崎小学校PTA 退会届](#)

用紙に記入の上、担任の先生にご提出ください。



ぜひご入会をお願いいたします

昨今の報道や記事、SNSによって PTA のネガティブな部分を取り上げられています。たしかに、昭和の時代につくられた PTA とその活動内容は、良くも悪くも伝統や前例踏襲として引き継がれてきました。

しかし、山崎小 PTA は変わろうとしています。

私たちは PTA の理念を大事にしながらも、やり方を変えます。理念とは“**なぜ**”やるのかを表しているだけです。“**なに**”を“**どのように**”やるのかは私たちが決めていけるのです。

子どもたちのためにできることを、一緒にやりませんか？



令和6年度 PTA 会長 自己紹介

はじめまして。

令和6年度、山崎小 PTA 会長を務めている常盤と申します。令和4年に野田市に越してきました。現在、6年生の男の子と3年生の女の子が山崎小に通っています。7年度には女の子が入学します。

山崎小にはまだまだ長くお世話になるので、PTA をより良くしていきたいという思いを強く抱いています。

私は PTA 活動をするうえで大事にしている考えがあります。ここにその一部を紹介します。

- 強制はしません
- PTA 加入・非加入で子どもを差別しません
- 人が集まらないなら集まった人でできることをします
- 「労働」「仕事」ではなく「活動」と呼びます
- ダメ出ししません、評価は「ありがとう」です
- 「何のための PTA？」を考え続けます